

令和6年度長期派遣研修 研究成果発表会

研究概要

1 目的	長期派遣研修の研究について、成果の発表や参加者との協議を通して、研究の深化と教育実践への活用を図る。
2 主催	大分県教育委員会
3 日時	令和7年2月19日(水) 開会10:00~閉会12:00
4 場所	大分県教育センター(大分市大字旦野原 847 番地の2) TEL (097) 569-0118 (代表) (097) 569-0228 (教科研修・ICT 推進部直通)

[10:15~10:50]

	【小学校 音楽】
①<大分県教育センター> 別府市立上人小学校 教諭 藤岡 美樹	思いや意図をもって音楽表現する力を育む小学校音楽科 歌唱授業の在り方 —「音の絵図」を用いた活動を通して—
<p>本研究では、思いや意図をもつための手立てとして、線や図、色彩や言葉等を用いて表出する活動を行うことにより、自己の考えが明確になり言語化に繋がると捉え、実践的手法を用いて検証した。音楽から聴き取ったことや感じ取ったことを、曲線や記号等を用いて楽譜上に書き込んだものを「音の絵図」とし、これらを手立てに児童が思いや意図をもったり、考えを言語化したりすることを促した。検証の結果、「考えをもつこと」「考えを伝えること」を促すには、「音の絵図」を用いることが概ね有効であることが明らかになった。</p>	

[11:00~11:35]

	【小学校 特別支援教育】
②<日田市教育センター> 日田市立光岡小学校 教諭 川津 智弘	特別支援教育におけるICTを活用した「個別最適な学び」 —ロイロノートを活用した小学校実践—
<p>平成24年から令和4年の10年間で小・中学校における特別支援学級の在籍者数は約2.1倍と倍増している。また、GIGAスクール構想が推進され、1人1台端末の貸与が始まって以降、特別支援学級に在籍する児童にとっても、1人1台端末を学習ツールの1つとして日常的に活用し、主体的に学習へ活用することが望まれている。そこで本研究では、算数科の授業において、ロイロノートを活用した「個別最適な学び」と学習内容の定着について検証した。</p>	